

ワクチン・パスポートに関する海外の新聞論説の紹介

文責：鈴木英仁¹

現在、新型コロナウイルスワクチンの接種を証明する「ワクチン・パスポート」制度の導入がヨーロッパをはじめ各国で検討されており、イスラエルはすでに独自の「グリーン・パス」を用いて経済活動を再開しています。

本稿は、ワクチン・パスポートについて論じた英語圏の新聞記事4つを取りあげ、そこで挙げられている論点を簡単に紹介するものです。普通の日常を取り戻す手段として期待されているワクチン・パスポートですが、科学的・社会的・倫理的な懸念も提起されています。

取りあげた記事の一覧²

- (1) New York Times: "[Vaccine Passports, Covid's Next Political Flash Point](#)"
- (2) Wall Street Journal: "[Covid-19 Vaccine 'Passports' Raise Ethics Concerns, Logistical Hurdles](#)"
- (3) Technology Review: "[Vaccine passports could erode trust](#)"
- (4) Syracuse.com: "[What is the Excelsior Pass? How NY's Covid app will be a passport for attending events](#)"

ワクチン・パスポートとはなにか

ワクチン・パスポートは、その名の通り、ワクチンの接種および自然免疫の獲得を証明する証明書で、一般的には政府や自治体が公的に発行するものを指します。形態としては、通常のパスポート（旅券）と同様の印刷物や、専用のスマートフォンアプリを利用することも提案されています。ワクチン・パスポートを用いてワクチンの接種を証明できる人は、イベントへの参加や飲食店への入店、海外旅行などが許可されるというのが制度の骨子です。

世界ではじめてこうした制度を導入したのはイスラエルですが、ニューヨーク州が州独自のワクチン・パスポートアプリ「Excelsior Pass」をリリースするなど³、各国で着々と制度の実装が始まっています⁴。

¹ 京都大学文学研究科修士課程

² 記事の選定は、以下のウェブサイトのリーディングリストによるものです。

<https://www.wbur.org/onpoint/2021/03/09/vaccine-passports-public-health-tool-or-invasion-of-civil-liberties>

³ ニューヨーク州のワクチン・パスポートについては、記事(4)に詳細な説明があります。Excelsior Pass は IBM の技術協力によるシステムで、イベント会場等に入場する際、アプリに表示される QR コードを提示することでワクチンの接種を証明することができます。

⁴ 記事(1)では、ほかに同様の制度の導入を始めている国としてサウジアラビアとアイスランドの名が挙げられています。

限定的ながらもパンデミック以前の普通の生活を取り戻し、経済を再び活性化させるワクチン・パスポートの魅力は大きく、多くの記事がその導入は不可避的であろうと述べています。しかしながら同時に、様々な懸念もあげられています。

ワクチン・パスポートにまつわる懸念

第一に、ワクチンの有効性についての科学的懸念です。記事(3)で指摘されていることですが、我々はいまだ新型コロナウイルスの感染と免疫について十分なデータを持っていません。また、オックスフォード大学とアストラゼネカ、モデルナ社の研究からは、ワクチンを接種した人が他の人にウイルスを広めてしまう可能性を示唆しています。これらの事実は、ワクチン・パスポートの有効性について疑念を投げかけています。加えて、記事(2)では、ワクチン・パスポートが一般の人々に誤った安心感を与え、ワクチンの有効性などの科学的事実について間違った印象を植え付けてしまう危険にも言及されています。

第二に、記事(1)と記事(3)が共に指摘している点ですが、ワクチン・パスポートには不公平を拡大し、社会的な分断を引き起こしてしまう危険性があります。マイノリティに属する人々や経済的に恵まれない人々は、概して医療機関に対する信頼感が非常に低く、またマジョリティや裕福な人々と比べてワクチンの接種率が低い傾向にあります。ワクチンを接種した人だけを社会に復帰させるシステムは、既に存在するこうした不平等を拡大し、更なる不信感を招くことになりかねません。さらに、ワクチンを接種していない人々に対する差別や偏見が煽られる危険性もあります。

そのほかにも、健康情報のプライバシーの問題、ワクチンを自国民に優先的・独占的に提供するワクチン・ナショナリズムの問題など、様々な懸念が提起されており、いまだ議論が十分に尽くされているとはいいがたいのが現状でしょう。

(2021年3月31日)